

金沢文庫キリスト教会

教会設立 45 周年礼拝

## 「喜びからの出発」

ルカによる福音書 19 章 5 節 6 節

イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」

ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。

### はじめに

金沢文庫キリスト教会の皆様、教会設立 45 周年おめでとうございます。私は 60 年ぐらい前に白根新治先生のお宅で始められていました「祈りの家」の集まりに神学生として参加したことがあります。金沢文庫キリスト教会は長い助走を経て教会になり、45 周年をお迎えになりました。

創立記念礼拝は、今までの多くのことを感謝すると共に新しい歩みの出発式です。

皆様とご一緒に「喜び」のうちに歩み出したいと願います。喜び無くしては何も始まりません。

今日はご一緒に喜びについて考えたいと思います。皆様にはどんな喜びがありますか。今日ご一緒にイエス様から教えられるのは「喜んだ」人についてです。彼はあまり良くない生活をしていましたが、イエスさまに出会い「喜び」全く新しい生活に進みました。

### 1 金持ちであった

聖書の時代に人々の生活は、今日考えられないくらい貧しかったのです。その時代に彼は「金持ち」でした。それは徴税人として税金を人々から不当に高く取り上げていたからです。そして自分の懐を肥やしていました。ですから彼にはお金があったのです。お金はありましたが決して豊かではありませんでした。同胞からお金を巻き上げて

いましたから人々から嫌われ、罪人の仲間と言われていました。

### 2 悩む

誰にも悩みがあります。たとえお金が沢山あったとしても悩みはあります。表面的には何の問題も無いと見える人にも悩みはあります。彼は特に人々を踏みつけていたのですから人々から嫌われていました。声を掛けてくれる人もいませんでした。すると悩みはますます大きく深くなります。多くの場合悩みの中にある人は内にこもり誰にも話せないことが多いのです。そのような苦しさの中にいる人々は私達の周りに沢山います。

教会にいる私達は時々いろいろな方々から悩みを聞きます。それに応えたいといろいろ話し合いをします。またお訪ねもします。けれどもほんの一部の人のお話ししか聞けません。また解決に時間がかかることも多いのです。

### 3 見たい 見られている

彼は人々と交わりが出来ない生活でしたが、イエス様という人がいらっしやるのが聞こえて来ました。彼はイエス様を「見たい」と願いました。どんな「存在」の人か知りたかったのです。彼の尋ねたかったことは、モーセが神様に「あなたはどなたですか」と尋ねた時に与えられた言葉と同じです（出エジプト 3・14）。彼は大切なことを求めています。

彼は人々に邪魔にされイエス様を見るのがなかなか出来ませんでしたので、「走って行って」先回りして木に登り、いちじく桑の大きな葉の間からイエス様を「見よう」としたのです。

するとイエス様の方から「ザアカイよ、急いで降りて来なさい」と呼び掛けてくださったのです。まさに転倒が起きました。「見よう」としていましたが「見られて」いたのです。

私達は一人ひとり精一杯生活をしています。また私達の側からいろいろのことをしようとしてい

ます。しかし本当は神様であるイエス様の方から「見ていて」くださっているのです。またイエス様の方から働き掛けてくださっているのです。これは私達の人生のことです。私達は多くの課題の中で自分をまた自分の人生を考えています。眠れない夜を過ごすことも多いのですが、自分で何とかしたいと願っています。その私達をイエス様は見ているとくださっていて、呼び掛けてくださっています。

#### 4 喜ぶ

ザアカイはイエス様からの呼び掛けを知りました。自分自身を知ってくだっているイエス様を知ったのです。そして喜んだのです。人は自分自身を本当に知ってくださる人がいることを知ることは大変な喜びなのです。

ザアカイとはギリシャ語でザアクカイエと言います。ザアクとカイエの二つの字から成り立っています。ザアクとは「生きていること」また「カイエ」とは「喜ぶこと」です。するとザアカイとは「喜びの生活をしている人」となります。喜び

の生活をしている人がザアカイなのです。

彼は救い主イエス様により、真に喜びの人に変えられました。いつも自分のことだけを考えていたこの人は、人々のことを考える人に変えられました。そして自分の財産を与えることを始めたのです。

#### まとめ

喜びは与える思いになります。私達は救い主イエス様に導かれています。イエス様は「急いで救い主であるわたしのもとに来なさい」と呼び掛けてくださっています。私達は神様であるイエス様に導かれています。いろいろ考えさせられ苦しんでいる私達がイエス様からの導きを知るなら、そこに新たな喜びの働きが始まるのです。

教会設立45周年礼拝はこれからの働きであります46年の始まりの日です。出発の日です。これからの50周年、100周年に向かってイエス様の喜びを持って歩み始めてください。

山本富二